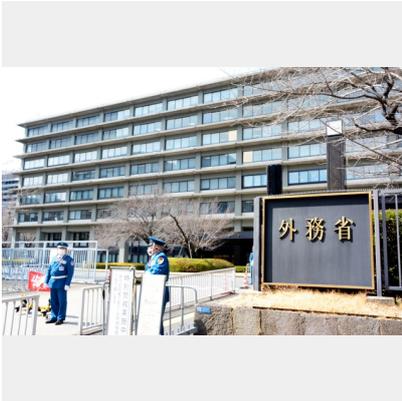


ウクライナ侵攻、日本も国際刑事裁判所に付託 捜査への支持を明確化

3/10(木) 8:00 配信

**朝日新聞**
DIGITAL

外務省

ロシアによるウクライナ侵攻について、英国などが戦争犯罪などを捜査するよう国際刑事裁判所（ICC、オランダ・ハーグ）に付託したことに関し、外務省は9日、日本も付託したと発表した。同省によると、付託した加盟国の数は日本が加わり計41カ国になるという。

外務省の発表では、ロシアのウクライナ侵攻を「力による一方的な現状変更の試みであり、国際秩序の根幹を揺るがす行為」と指摘。「明白な国際法違反であり、断じて許容できず、厳しく非難する」と強調した。その上で、ICCによる捜査への支持を明確化する観点から、ICCへの付託を行ったとしている。

ICCのカーン主任検察官は2日、戦争犯罪や人道に対する罪、集団殺害（ジェノサイド）の罪で捜査を開始したとの声明を発表している。2013年までさかのぼり、14年のロシアによるクリミア半島併合も含まれるという。（野平悠一）

朝日新聞社

10

17

3

学びがある わかりやすい 新しい視点

【関連記事】

北方四島、「固有の領土」に表現変化 政府、原則的立場訴える姿勢に
G7、ロシアの原発攻撃を非難 林外相は「最も強い言葉で非難」
岸田首相「エネルギー安定供給は国益」 米のロシア産禁輸に追随せず
ウクライナに防弾チョッキなど提供へ 異例の支援に首相「強い連帯」
ロシアへの追加制裁、飛行禁止 求められた首相は 7日の国会審議

最終更新: 3/10(木) 8:00

朝日新聞デジタル